

「公民館等活性化モデル事業」実施要項

1 趣旨

将来にわたって地域住民から愛され、利用され、支えられるような公民館等を目指し、地域の団体等との連携協力により地域住民が公民館等に愛着と理解が持てるような公民館等の事業に対して助成を行い、その成果を他の公民館等の事業の参考とする。

2 主催

広島県公民館連合会

3 共催

広島県教育委員会

4 期間

(1) 2年間

(事業は単年度ごと。1年目の事業の成果と課題を踏まえ、2年目の事業を行う。)

(2) 本事業の実施期間は、助成決定日から同年度の2月末日までとする。

5 助成内容

(1) 広島県立生涯学習センターの社会教育主事等の専門的な職員が、事業実施市町と連携しつつ、訪問等を行うなど、モデル事業を企画・実施する職員（社会教育主事や公民館等職員）への助言や事業の支援を行う。

(2) 1館当たり年額7万円までの助成金を支給する。

6 助成の対象となる公民館等数

4館（1年目2館、2年目2館）

7 助成の対象となる事業

(1) 地域の実情に応じ、地域住民の学習活動の支援や地域の問題解決に資するため、積極的に、アに例示する現代的な学習テーマや事業内容について、中教審答申等で示された観点に留意しながら、イに例示する学習内容を深めるための手法をもって、多様な参加者を得るための学習環境整備に取り組み、かつ、事業の成果等について自己点検・自己評価を行うもの。

ア 学習テーマ・事業内容例

- 子育て支援、家庭教育支援、子どもの体験活動、子ども食堂、若者のまちづくり参画、健康づくり、高齢者の学び支援、障害者の学び支援、ICTの活用、地域防災・減災、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、ボランティア養成、地域資源を活用したまちづくり、日本語を母語としない住民の学び支援、自主夜間中学、環境保全、国際理解、少子高齢化社会、デジタルリテラシー、人権問題、貧困問題、教育格差、地域振興伝統文化振興、主権者教育、消費者教育、デジタル・ディバイドの解消、世代間交流活動 等
- その他住民の学習需要に基づく学習や、地域の特色を生かした多様な学習 等

第4期教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）や「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」（平成30年12月21日中央教育審議会）、第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（令和2年9月中央教育審議会生涯学習分科会）、第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（令和4年8月中央教育審議会生涯学習分科会）及び今後の生涯学習・社会教育の振興方策を踏まえた取組や学習として例示する。（具体的な観点 社会的包摂に寄与する取組、「人生100年時代」「Society5.0」を見据えた取組、地域活性化・地域振興に資する取組 等）

イ 学習内容を深めるための手法例

- 住民の学習ニーズ把握とそれに応じた学習情報の収集・提供、学習相談
 - 学習グループやボランティア、指導者等の養成
 - 地域住民等の学習の成果並びに知識及び技能の活用
 - 学校、社会教育施設、社会教育関係団体、NPO法人その他の民間団体、民間企業、関係行政機関等との緊密な連絡・協力の促進
 - ICT技術や情報ツール、コンテンツの学習への活用 等
- (2) 公民館等施設を使用することを原則とするが、オンライン等での事業も可能とする。
- (3) これまでに広島県公民館連合会「公民館等活性化モデル事業」により助成された事業は対象外とする。

8 助成対象経費について

別紙「助成対象経費について」のとおり

9 計画書及び報告書の提出

年度ごとに提出する。

- (1) 助成を希望する公民館等は、別紙様式1により計画書を作成し、所属の教育委員会等を通して、別途通知する日までに各地区連絡協議会等に提出する。

各地区連絡協議会等は、提出された計画書を取りまとめて、広島県公民館連合会事務局に提出する。

- (2) 事業終了後は、別紙様式2により報告書を作成し、所属の教育委員会等を通して、3月15日までに各地区連絡協議会等へ提出する。

各地区連絡協議会等は、提出された報告書を取りまとめて、広島県公民館連合会事務局に提出する。

10 助成の対象となる公民館等の決定

- (1) 公民館等から提出された計画書をもとに、選考委員会で審査の上、6月頃決定する。
- (2) 決定に当たっては、事業内容、地域・市町のバランスに配慮する。

11 選考委員会

選考委員は次の者とし、広島県公民館連合会事務局長を委員長とする。

広島県公民館連合会事務局長

広島県教育委員会学びの変革推進部生涯学習課長

学識経験者

この他、委員長は必要に応じて別に選考委員を指名することができる。

12 事業内容の変更・中止

助成決定後、事業内容を変更又は中止する場合は、別紙様式3により、計画変更（中止）申請書を提出し、広島県公民館連合会の承認を得ることとする。

13 事業内容の普及

- (1) 広島県教育委員会及び広島県立生涯学習センターはホームページに、その事業内容を掲載する。
- (2) 2年間のモデル事業を実施した公民館等は、翌年度の「広島県公民館大会」で実践発表を行う。

14 その他

事業に当たっては、参加者・スタッフに対する傷害補償保険に加入すること。

附則

この要領は、令和6年3月19日から施行する。

助成対象経費について

当該助成金は事業に対する助成金であるため、対象となる経費は、助成対象事業の目的の達成に当たり必要と認められる必要最小限の経費であり、団体の運営や対象事業以外の事業に係る経費は対象とならない。

助成対象事業の実施のために要した経費としての積算が困難である支出は、交付申請時及び事業完了報告時に記載する事業費（対象事業費）には計上しない。

特に、次に掲げる表のことに留意すること。

	対象となる経費	対象外となる経費
報償費	<ul style="list-style-type: none"> 講師、指導者への謝金 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアに対する謝金 団体等又は共催団体の構成員（以下「構成員等」という。）に対する謝金 菓子折や図書券など物品や金券による謝礼
旅費	<ul style="list-style-type: none"> 講師、指導者、ボランティア及び構成員等の交通費及び宿泊費 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者に対する交通費及び宿泊費 交通費のうち、公共交通機関使用の場合のグリーン車運賃等の特別料金 宿泊費のうち飲食代 海外からの渡航費
需用費	<ul style="list-style-type: none"> 参加者一人当たり1,000円までの材料費 用紙代、インク代、コピー代 チラシや募集案内等の印刷費 文房具代 提出用報告書に係る写真代（現像代等） 熱中症対策等に係る物品の購入 事業（オンライン講座等も含む）に必要な機器 	<ul style="list-style-type: none"> 助成事業以外で使用する消耗品費 参加者が作成し持ち帰る物についての材料費のうち、一人当たり1,000円を超える額 参加者に配付する記念品代 文房具の中で、参加者が持参できる物品代
役務費	<ul style="list-style-type: none"> 募集チラシ、参加者への案内等の送料 事業に必要な物品の搬送料 講師、指導者、ボランティア、構成員等及び参加者の保険料 	<ul style="list-style-type: none"> 通信料（電話料金等の公共料金の支払い）
使用料及び賃借料	<ul style="list-style-type: none"> 会場使用料 構成員等の事業実施場所への入場（館）料 物品の借上げ料 資材等の運搬や構成員等が事業実施場所へ移動するためのレンタカー借料 機材レンタル料 借用衣類のクリーニング代 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の事業実施場所への入場（館）料 事業期間を越える使用に係る機器リース費用 参加者の移動に伴うバスの借料 ソフトウェアライセンス料（Zoom等）
食糧費	<ul style="list-style-type: none"> 調理等を行う事業の食材購入費（参加者一人当たり1,000円以内） 	<ul style="list-style-type: none"> 左記の食材購入費のうち参加者一人あたり1,000円を超える額

公民館等活性化モデル事業計画書

地区名 (〇〇〇〇地区協議会)

公民館情報

〇〇市〇〇〇公民館

運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会	<input type="checkbox"/> 指定管理者 (〇〇地区まちづくり協議会)	<input type="checkbox"/> その他 ()	
職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人	職員のうち社会教育士の数 0人)	合計 0人

事業名

1. 事業を進めたい要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

2. 事業の趣旨・目的

3. 事業の具体的内容

開始年度	令和 年度 (過去の県公連モデル事業の助成の有無： 選択)
事業期間	〇月〇日 (〇) ~ 〇月〇日 (〇)
実施場所	公民館 〇〇室・〇〇室・〇〇室
対象者数 (属性は適宜修正 してください)	<input type="checkbox"/> 大人 0人 <input type="checkbox"/> 子供 0人 <input type="checkbox"/> 〇〇 0人 合計 人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()
学習テーマ等 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 国際理解 <input type="checkbox"/> 少子高齢化社会 <input type="checkbox"/> デジタルリテラシー <input type="checkbox"/> 人権問題 <input type="checkbox"/> 貧困問題 <input type="checkbox"/> 教育格差 <input type="checkbox"/> 地域振興伝統文化継承 <input type="checkbox"/> 主権者教育 <input type="checkbox"/> 消費者教育 <input type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input type="checkbox"/> 世代間交流活動等の現代的・地域的課題 <input type="checkbox"/> その他 ()

学習内容を深めるための取組の手法等 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 住民の学習ニーズ把握とそれに応じた学習情報の収集・提供、学習相談
	<input type="checkbox"/> 学習グループやボランティア、指導者等の養成
	<input type="checkbox"/> 地域住民等の学習の成果並びに知識及び技能の活用
	<input type="checkbox"/> 学校、社会教育施設、社会教育関係団体、NPO法人その他の民間団体、民間企業、関係行政機関等との緊密な連絡・協力の促進
	<input type="checkbox"/> ICT技術や情報ツール、コンテンツの学習への活用
	<input type="checkbox"/> その他 ()
事業で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学
	<input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関
	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他
	()

4. 事業により期待される成果や効果

--

5. 事業の検証・改善を行う仕組み・方法

--

6. 広島県立生涯学習センターに期待する支援 (記載は任意)

--

予 算

1 収入		
科目	金額	積算基礎
広島県公民館連合会助成金	70,000円	
	0円	
	0円	
	0円	
合計	70,000円	

2 支出		
科目	金額	積算基礎
報償費	0円	
旅費	0円	
需用費	0円	
役務費	0円	
使用料及び賃借料	0円	
食料費	0円	
	0円	
合計	0円	

〇〇市〇〇〇公民館 (担当: 〇〇 〇〇)

開館時間 _____ H P _____

電話番号 _____ MAIL _____

公民館等活性化モデル事業計画書

地区名 (中央地区協議会)

公民館情報		まなび市中央公民館	
運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会	<input type="checkbox"/> 指定管理者 (<input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会)	<input type="checkbox"/> その他 ()
職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人	<input type="checkbox"/> 兼任 0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人	職員のうち社会教育士の数 1人)	合計 4人

事業名 **オンライン公民館まなび**

1. 事業を進めたい要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 公民館への来館者が固定化しており、公民館の未利用層へのアプローチが必要であると考えている。
- オンライン会議が一般的になるなどの社会情勢の変化に対応し、デジタル技術を生かした事業に挑戦したい。
- 職員が全員デジタル技術に精通しておらず、職員自身のスキルを向上させる必要がある。

2. 事業の趣旨・目的

- オンラインを活用した当事業により、公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業を補完し、さらなる学習成果の発信や公民館の未利用層へのアプローチで、地域の核としての公民館の存在価値を高める。
- 事業実施を通じて、社会情勢の変化に対応した公民館職員の人材育成を行う。

3. 事業の具体的内容

- 1 実施体制 (図等による説明でもよい)
まなび市中央公民館が事務局となり、まなび市内の参加希望公民館及び公民館グループとともに、オンラインによる事業を展開する。
- 2 事業内容
 - (1) オンライン・ミーティング (月1回程度)
リモート事業の企画・調整、事業サポートのための研修・活動報告、事業実施にかかる運営スキームの研究、情報交換など
 - (2) 公民館等デジタル活用事業普及・サポート活動 (年数回)
公民館や社会教育施設等が主催する事業の中でデジタル活用にチャレンジする施設等の事業運営を、メンバーのスキルアップを兼ねてサポートするとともに、リモート活用事業の拡充を図ることで市民のオンライン活動の機会を促進
 - (3) オンラインイベント「オンライン公民館ライブ発表会」の実施 (年1回)
公民館グループによる成果発表会を、複数の公民館と連携して、オンラインで実施する。
 - (4) 学びを展開！オンラインチャレンジ公民館 (年1～2回)
様々な施設と連携して行うオンライン事業。社会教育施設等と連携して実施する。

開始年度	令和 5 年度 (過去の県公連モデル事業の助成の有無： 無)
事業期間	令和6年7月1日(月)～2月28日(金)
実施場所	公民館 会議室・ロビー・研修室 (参加希望公民館も含む) ほか (オンライン含む)
対象者数 (属性は適宜修正してください)	<input checked="" type="checkbox"/> 公民館グループ 600人 <input checked="" type="checkbox"/> 中高生等 200人 <input type="checkbox"/> ○○ 0人 合計 800人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()
学習テーマ等 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 国際理解 <input type="checkbox"/> 少子高齢化社会 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルリテラシー <input type="checkbox"/> 人権問題 <input type="checkbox"/> 貧困問題 <input type="checkbox"/> 教育格差 <input type="checkbox"/> 地域振興伝統文化継承 <input type="checkbox"/> 主権者教育 <input type="checkbox"/> 消費者教育 <input checked="" type="checkbox"/> デジタル・デバイドの解消 <input checked="" type="checkbox"/> 世代間交流活動等の現代的・地域的課題 <input type="checkbox"/> その他 ()

学習内容を深めるための取組の手法等 (複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 住民の学習ニーズ把握とそれに応じた学習情報の収集・提供、学習相談			
	<input checked="" type="checkbox"/> 学習グループやボランティア、指導者等の養成			
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民等の学習の成果並びに知識及び技能の活用			
	<input checked="" type="checkbox"/> 学校、社会教育施設、社会教育関係団体、NPO法人その他の民間団体、民間企業、関係行政機関等との緊密な連絡・協力の促進			
	<input checked="" type="checkbox"/> ICT技術や情報ツール、コンテンツの学習への活用			
	<input type="checkbox"/> その他 ()			
事業で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input checked="" type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他
	[]			

4. 事業による期待される成果や効果

- 公民館の未利用層へのアプローチすることで、新たな公民館利用者を増やし、公民館の活性化をねらう。
- 多様な機関等との連携事業で社会教育の裾野を広げる。
- デジタル技術を習得した職員を増やし、新たな公民館事業の可能性を広げる。

5. 事業の検証・改善を行う仕組み・方法

- 事業実施者、参加者にアンケートをとり、事業の内容及び運営の振り返りを行い、次の実施に生かし、ブラッシュアップを繰り返す。

6. 広島県立生涯学習センターに期待する支援（記載は任意）

- 事業計画は立てているが、事業内容の改善点がどこにあるのか漠然としているため、オンライン会議を含め、節目ごとに相談に乗ってほしい。
- 公民館を訪問いただき、事業のブラッシュアップについて助言をいただきたい。

予 算

1 収入

科目	金額	積算基礎
広島県公民館連合会助成金	70,000円	
	0円	
	0円	
	0円	
合計	70,000円	

2 支出

科目	金額	積算基礎
報償費	40,000円	講師謝金
旅費	20,000円	講師旅費
需用費	10,000円	チラシ印刷用紙
役務費	0円	
使用料及び賃借料	0円	
食料費	0円	
	0円	
合計	70,000円	

まなび市中央公民館 (担当：公民 館太郎)

開館時間 9:00～21:00

電話番号 002-513-5012

H P

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/center/kouminkan-modeliigyou.html>

MAIL

gakusyu@city.manabi.lg.jp

学習内容を深めるための取組の手法等 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 住民の学習ニーズ把握とそれに応じた学習情報の収集・提供、学習相談
	<input type="checkbox"/> 学習グループやボランティア、指導者等の養成
	<input type="checkbox"/> 地域住民等の学習の成果並びに知識及び技能の活用
	<input type="checkbox"/> 学校、社会教育施設、社会教育関係団体、NPO法人その他の民間団体、民間企業、関係行政機関等との緊密な連絡・協力の促進
	<input type="checkbox"/> ICT技術や情報ツール、コンテンツの学習への活用
	<input type="checkbox"/> その他 ()
事業で連携・協働した団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学
	<input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関
	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他
	()

4. 事業による成果と課題

--

5. 事業の検証・改善を行う仕組み・方法及びその結果

--

6. 広島県立生涯学習センターの支援 (記載不要)

--

決算

1 収入		
科目	金額	積算基礎
広島県公民館連合会助成金	70,000円	
	0円	
	0円	
	0円	
合計	70,000円	

2 支出		
科目	金額	積算基礎
報償費	0円	
旅費	0円	
需用費	0円	
役務費	0円	
使用料及び賃借料	0円	
食料費	0円	
	0円	
合計	0円	

〇〇市〇〇〇公民館 (担当: 〇〇 〇〇)

開館時間 _____ H P _____

電話番号 _____ MAIL _____

様式3

令和 年 月 日

広島県公民館連合会会長様

市 町 名

公民館等名

館 長 名

「公民館等活性化モデル事業」計画変更（中止）申請書

令和 年 月 日付けで助成決定のあったこの事業について、次のとおり変更（中止）したいので、関係書類を添えて申請します。

1 変更（中止）内容

2 変更理由

3 添付書類 助成申請の変更に係る書類全てとする。